

のびようよ

学校だより 富山県立となみ東支援学校

富山県砺波市福山1149 TEL 0763-37-1553 FAX 0763-37-1554

URL <http://www.tonamihigashi-sh.tym.ed.jp> E-mail tonamihigashishien@ed.pref.toyama.jp

ICTを活用した授業風景

校長 齊藤 和枝



文部科学省のGIGAスクール構想に基づいて全国の学校で1人1台端末の導入とネットワーク環境の整備が行われました。

本校では、一人一人の教科等の目標を達成するため、ICTの効果的な活用に焦点を当てた授業改善に取り組んでいます。教員の校内研修では、3グループに分かれて研究授業を実施して改善点を話し合い、外部講師からも助言を受けました。ICT操作に長けた若手と、指導・支援のベテランが持ち味を生かして学び合い、その成果を自身の授業に活かしていくという方法で進めています。

日頃の授業の様子からは、児童生徒が時間を見える化したアプリケーションで残り時間を確認し作り方の動画を自分で見直して作業する姿、朝の会の進行役がタブレット端末を操作して会を進める姿、音声機能を利用して友達同士が意思を示し合う姿、自分の身体の動きを動画で確認して動きを修正しようとする姿等々、児童生徒が苦勞しがちな場面にICTを効果的に導入することで一人一人の学びやすさを補佐することが可能であると感じています。

また庄東小学校、般若中学校との交流及び共同学習はオンラインで実施しています。コロナ禍で限界はあるものの、長年継続してきた大切な地域との絆をICT活用でしばしつないでいきたいと思います。

今後とも本校の教育活動に、ご理解とご支援を賜りますようよろしくお願いいたします。

令和4年度 学校評価について

「アクションプラン」として
二つの重点課題に取り組みます。



健康に関する指導

重点課題	【学校生活】 児童生徒の年齢に応じた健康と性に関する指導の充実	【進路支援】 進路支援の充実
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> 小学部及び中学部で年間3回以上の保健指導を行う。 児童生徒の実態を基にした指導内容や支援方法について砺波学園と情報共有する機会をもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> 外部講師を招いた進路に関する研修会を年間2回実施する。 進路指導計画と連動したキャリア・パスポートを児童生徒一人当たり年間5枚程度作成し、集積する。



運動会

5月21日(土)



気持ちの良い青空の下、新型コロナウイルス感染拡大防止策を講じて運動会を実施しました。

小学部の加技走「と東Eats～今日、私が運ぶのは～」では、ミニハードルや円柱ブロック渡り、トンネルなどの課題をクリアして、最後に「と東Eats」のリュックを背負ってゴールまで料理を届けました。中学部の加技走「わたしたちのSDGs」では、アルミ缶やペットボトルなどの資源ごみを分別したり所定の場所まで運んだりしてゴールを目指しました。今年度からの新競技「と東お片付け大作戦」では、グラウンドの中央に散らばったたくさんのお手玉やボールを集めました。何度も往復したり、両手いっぱいにお手玉やボールを抱えたりして、一人一人の個性が表れた良い競技になりました。

保護者の皆様にも参加していただいた「レッツ・ダンス」では、みんなで輪になりフォークダンスの定番曲「マイム・マイム」を楽しく踊りました。

児童生徒は、日頃の学習や練習の成果を発揮して競技・演技に取り組んでいました。保護者の皆様、学園の先生方、応援や片付けなどのご協力をありがとうございました。



児童生徒会会長挨拶
—開会式—



よーいドン！—短距離走—



たくさん持ってきたよ
—と東お片付け大作戦—



急いで配達中！—小学部競技—



ごみを分別！—中学部競技—



親子でふれあい
—レッツ・ダンス—

不審者対応訓練

7月1日(金)



不審者が動かないように
刺股で押さえ込み



イラストを使って
教えていただきました

砺波警察署の警察官を講師にお招きして、校内に不審者が侵入したときの教職員の実践的な訓練や、児童生徒に向けての防犯教室を行いました。

防犯教室では、不審者に遭遇したときに自分の身を守る合言葉「いかのおすし（知らない人について①か、②らない、③おきな声を出す、④すぐに逃げる、⑤らせる）」を分かりやすく教えていただきました。不審者に会った想定のカールプレイングに参加した生徒は、不審者役の講師に声を掛けられると「助けてー」と大きな声で助けを求めたり助けを求めた人に不審者の特徴を知らせたりなど、「いかのおすし」を生かして自分の身を守ることができました。

小学部

生活単元学習 みんなで遊ぼう

小学部みんなで魚釣り遊びをしました。
「順番に遊ぶこと」「道具を元の場所に直すこと」といった約束を守って楽しく遊びました。何回か遊ぶうちに、イサキやヒラメなど魚の名前が言えるようになったり、狙った魚が釣れるまで辛抱強く釣り竿を構えたりすることができるようになりました。

校外学習

6月24日(金)

生活単元学習「自然や植物に親しもう」の一環として、富山県中央植物園に行ってきました。
運転手さんの解説を聞きながら園内バスで見学したり、温室や展示園で珍しい花や木を見付けたりして、いろいろな植物に親しむことができました。また、たくさん歩いた後の昼食(カレーライス)は格別で、みんなよく味わって食べていました。



何が見つけたかな？



マカデミアナツの実があったよ！



たくさんつりたいな



園内バスに乗って見学 楽しいな



中学部

生活単元学習 水について考えよう、知ろう



蛇口、ここにあった！



下水管に入ってみたよ

作業学習



刺し子



のこぎり練習



アルミ缶潰し

一年間で「布工芸」「リサイクル」「木工芸」などの活動を行っています。布工芸では主に刺し子での布巾やコースターの製作、リサイクルではアルミ缶とペットボトルを潰す活動や牛乳パックを加工した廃油処理剤の製作、木工芸ではペンスタンドやコースターの製作などに取り組んでいます。活動を通して、準備や後片付け、服装や言葉遣いなどの適切な作業態度を身に付けていきます。

「飲料水の供給や下水処理についての仕組みを知る」「校内の蛇口や学校周辺の用水等を見付けたり、富山県の一級河川について調べたりしたことを発表する」等の学習に取り組みました。
学習の一環として6月に訪問した富山県下水道公社二上浄化センターでは、家庭から出た汚水が歩く速度で下水管を通ること、その下水管が自分たちの体がすっぽりと入る大きさであることに驚いたり、水の汚れをきれいにする微生物の顕微鏡映像を見たりして、身の回りにある「水」についてさらに関心をもつことができました。

学校の環境美化活動として、花や緑で学校を明るくする「花いっぱい運動」に取り組んでいます。学級ごとに、どんな花を植えたいかを決めてプランターへの土入れから苗植えまで行いました。植えたばかりの頃は、葉がしおれていたり背丈がなかなか大きくならなかったりなど心配な苗もありましたが、学級の係活動や植物に関する授業で水やりや除草等にごつごつと取り組んだ成果が出て、今は順調に花が咲いています。

これからもみんなで大切に手入れを続けて、花や緑でいっぱいの明るい学校を目指していきたいと思っています。



優しく土を掛けました



早く大きくなってね



中学部での読み聞かせ



興味・関心に合わせた本の選定



県立特別支援学校には「学校図書館司書」が配置されており、今年度は8回の巡回があります。司書の業務は多岐に渡りますが、特に児童生徒が楽しみにしているのが「本の読み聞かせ」です。6月に中学部生徒3名を対象に読み聞かせと本の紹介がありました。興味・関心に合わせた選書と優しい語り口でどの生徒も話に引き込まれ、関連本が並べられると、興味を引かれた本を自由に手に取りページをめくっていました。

その他にも、書架の整理や推薦本の展示、購入する本の選定や受入れ業務、本の補修、蔵書点検など様々な形で子どもたちの読書活動を支えています。

受賞 第29回中学生清流展

清流賞・北日本新聞社賞
庄川美術館収蔵作品にも
選ばれました。



山田 俊明 さん
「春の運動広場」

入選



羽柴 志保 さん
「私の学校」

学校公開週間

6月13日(月)
～17日(金)

学校公開週間を実施したところ、砺波広域圏の学校や関係機関より、合わせて6名の参加がありました。見学と説明を通して本校の教育活動の様子や施設設備、教室環境について知っていただくことができました。

今後も、地域のセンター校として特別支援教育に関する情報発信を行っていきます。

